

七飯町

にしなぬま

西 大 沼

町内会

発行 2024.1月

発行所

民生児童課

石渡 進

(67)3716

今年も宜しく

お願いしまわし

町内会長 石渡 進

正月元日から能登半島地震は自然災害の恐ろしさを印象づけると共に、被災者の皆様にお慰撫を申し上げたいと思います。西大沼も駒ヶ岳という活火山を目前にしており、いつ噴火があるか！心して今年も生活していきたいと思っております。

新年交礼会を開催



1月6日(日) 町内会館で久しぶりの新年交礼会を開催しました。会長の挨拶に続き「乾杯」をして情報交換・参加者の今年にかける抱負など楽しく歓談をいたしました。
※昨年末に内田さんが転居し新しい人が転入して来るようです。(詳細はわかり次第お知らせする予定です)

また新型コロナウイルスがら類に移行したおとも感染は依然衰えていないようです。更に冬の乾燥期でインフルエンザも感染が気になるこの頃です。
こんな状況の中の新年のスタートですが町内会の皆様のご健勝ご多幸を願っております。これからが冬本番です。春の到来を待ちながら元気にすごしましょう。

赤い羽根募金

七飯社協へ納入

昨年11月に毎年恒例の赤い羽根の募金を社会福祉協議会に納入して頂きました。七飯町はじめ全国の支援を必要としている人々の活動に役立っていると思うと嬉しくなります。

日本赤十字募金

役場福祉課へ

例年12月に持参し納入して頂いた日本赤十字の募金ですが、1月10日に納入して頂きました。能登半島地震の被災地に義援金として送られると思うと、一人ひとりの力は小さくても全国の人々の善意として大きな力になることに意義を感じます。

并財天宮の祭礼

例年開催の夏の并財天宮の稻穂ですが、本年は今までのように大きな一歩を踏み出すことになりました。今までは8月19・20日開催となっており、仕事を持っている町内会役員は準備・参拝・あと片付けが十分に出来る苦慮するばかりでした。役員会として、一昨年の「祭についてのアシケ」の結果なども参考に、「特定宗派ではなく「心のよりのところ」の并財天宮として何とかできないものか！

編集後記

昨年7月以降発行が出来ず恐縮です。私の体調不良でしたが、やっと4号として発行でき、はっとしていただきます。私達の住む環境がどうであれ、毎日を元気に過ごせる幸せを噛み締めています。

と考へ、昨半夏の参拝終了後、町長と懇談したり、三嶋神社宮司と懇談したりしました。そして、「三嶋神社を続けるためには、土・日での準備・参拝。あと片付けをしたい。」ということも役員会で決めました。その結果、◎6月の第3が第4の土・日の実施なら可能ということになりました。以上のことから本年から「并財天宮祭礼」は6月の実施ということになりました。実施の詳細については、新年度に入ってからおしらせします。
また、島への往来時に使用していた棧橋の改修には大成建設さんが協力して下さることにになりました。